



手柄山中央公園 整備基本計画



平成29年1月
姫 路 市



手柄山中央公園整備基本計画

平成29年1月

姫 路 市

はじめに

戦後の復興期から高度成長期へと突き進む時代、手柄山中央公園は、「姫路の勤労者がお金を使わず家族と楽しく過ごせる公園にしたい。」という理念に基づき整備された公園で、中心市街地の南西部に位置する立地条件等から、利便性が極めて高く、年間180万人以上の利用者が訪れる本市を代表する総合公園です。

公園内施設の変遷を振り返ると、昭和31年に太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔が建立され、昭和41年に姫路大博覧会のメイン会場になったことを機に一気に開発が進みました。

その後、時代の移り変わりに伴い、施設の新設や統廃合を重ね、現在、姫路球場、陸上競技場等のスポーツ施設をはじめ、水族館、緑の相談所、温室植物園、文化センター、平和資料館等、多種多様な公園施設が集積し、緑化推進、スポーツ振興、平和学習等の様々な行政拠点となっています。

これまで、平成12年策定の手柄山中央公園整備計画調査報告書に基づき整備を行ってきましたが、本計画に基づく整備期間は平成24年で終了していることに加え、園内施設の著しい老朽化等の課題やJR姫路・英賀保間新駅の整備構想、文化センターの移転への対応にも迫られています。

このため、園内施設の再配置を中心とする新設、改修等の中長期的な整備方針を示した基本計画を策定し、都心部の総合公園として立地特性を活かした「緑と憩いを与える空間」、「次世代を育む子育て空間」、「健康づくりやスポーツを楽しむ空間」として、更には「災害時における防災空間」等、多様な利用者ニーズに対応した多機能な魅力あふれる公園づくりに取り組んでいきたいと考えています。

最後に、本基本計画の策定に当たり、ご協力いただきました市民の皆様、関係の方々に心から感謝申し上げます。

平成29年（2017年）1月

姫路市長

石見利勝

目 次

第1章 基本計画策定に向けた取組み	1
1. 背景と目的.....	1
2. 目標年次.....	1
3. 対象区域の範囲.....	1
4. 手柄山中央公園整備計画調査報告書の検証.....	2
5. 検討フロー.....	3
第2章 手柄山中央公園の概要	4
1. 位 置.....	4
2. 地 勢.....	5
3. 景 観.....	5
4. 歴 史.....	7
5. 道路・交通状況.....	13
6. 都市公園法上の条件.....	14
7. 上位計画における位置づけ.....	16
8. 主な分野別の方針.....	19
第3章 手柄山中央公園の現状分析	20
1. 土地利用状況.....	20
2. 施設の現況.....	21
3. 公園利用者等の意向.....	34
4. 社会潮流の変化.....	37
5. 手柄山中央公園の現況.....	37
6. 課題整理と求められる役割.....	38
第4章 整備方針	40
1. 公園名について.....	40
2. 整備コンセプトと整備の基本方針.....	42
第5章 手柄山中央公園の施設再配置	44
1. ゾーニングの考え方.....	44
2. ゾーニング.....	44
3. 公園施設の再配置.....	46
4. 公園関連事業の取組み.....	57
5. 整備手法の検討.....	59
6. 公園全体の管理・運営方針.....	59
7. 手柄山中央公園の施設再配置イメージ図.....	59
第6章 整備スケジュール	61
第7章 長期的視点からの展望	62
参考資料	67

第1章 基本計画策定に向けた取組み

1. 背景と目的

手柄山中央公園は、これまで、平成12年策定の手柄山中央公園整備計画調査報告書に基づき整備を進めてきたが、この整備期間が平成24年で終了していることに加え、園内施設の著しい老朽化等の課題やJR姫路・英賀保間新駅の整備構想、文化センターの移転等への対応に迫られている。

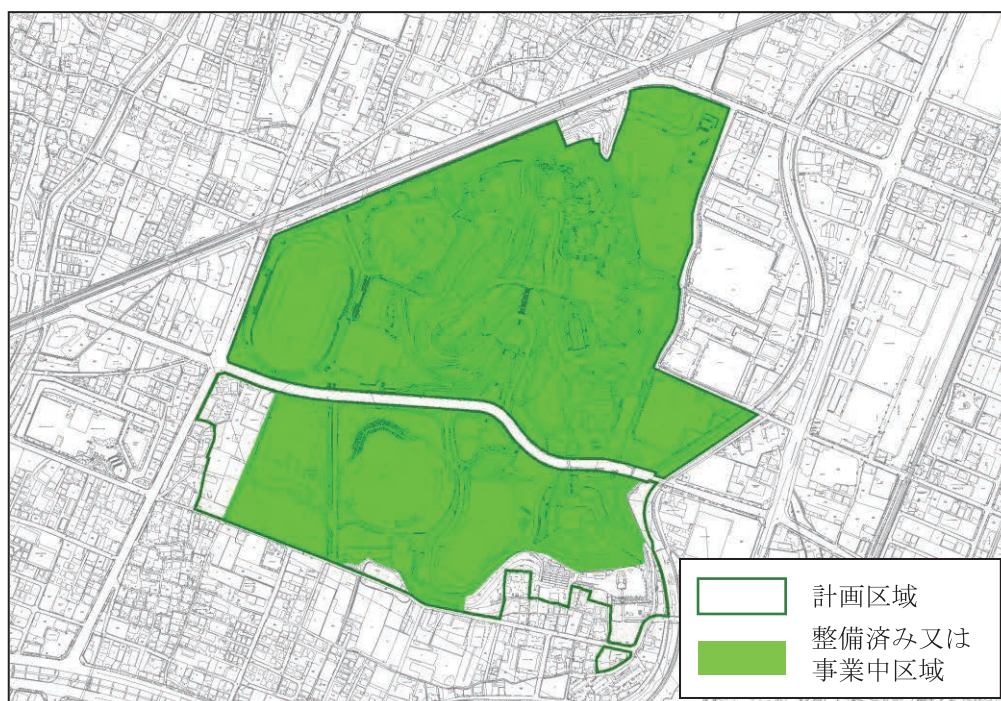
このため、園内施設の再配置を中心とする新設、改修等の中長期的な整備方針を示した「基本計画の策定」が求められている。

2. 目標年次

本公園の北西部地域を第1期整備とし、整備目標年次を平成37年度とする。
また、東部地域を第2期整備とし、平成38年度以降に整備を行う。

3. 対象区域の範囲

本公園は、都市計画決定面積42.9ha、供用区域面積38.17haの総合公園で、対象区域は、その全域である。

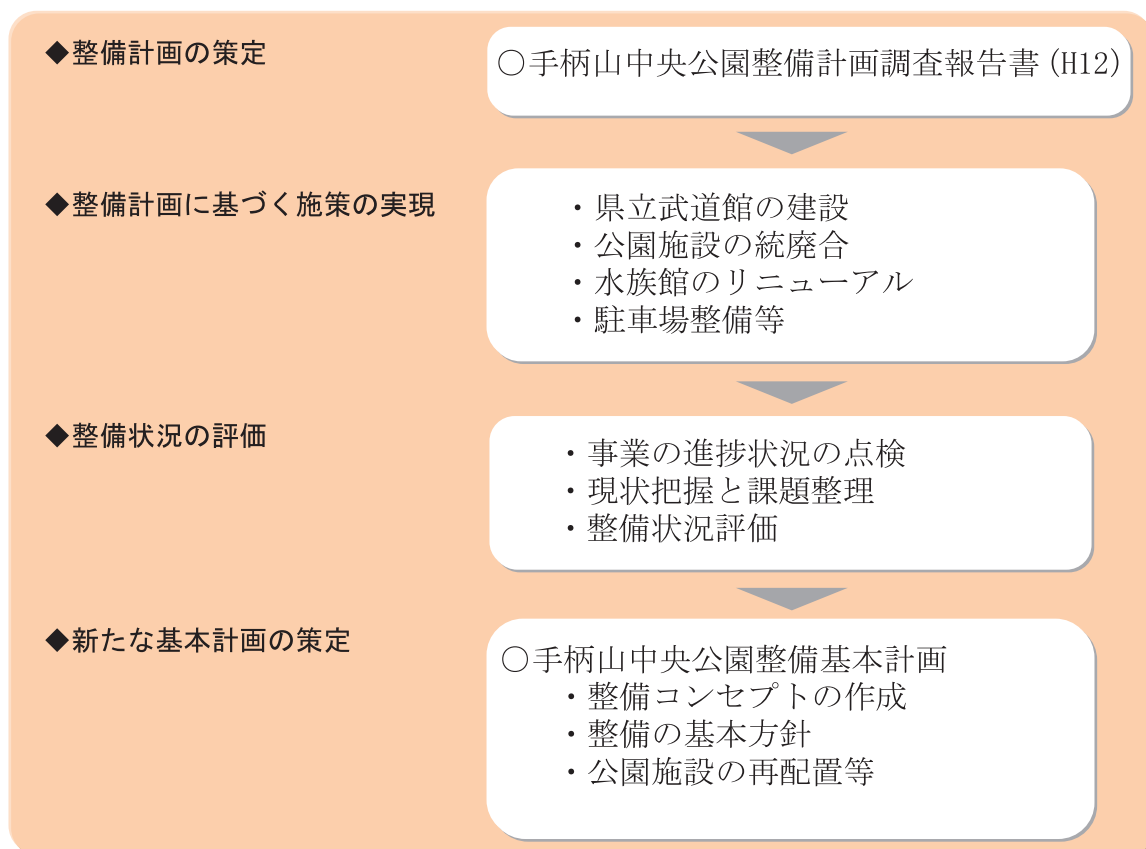


■手柄山中央公園の区域

4. 手柄山中央公園整備計画調査報告書の検証

平成12年に策定された整備計画調査報告書に基づいて進められてきた手柄山中央公園の整備状況の検証を行い、新たな基本計画を検討する。

【検証フロー】 目標年次:平成24年時点での公園像を示す。



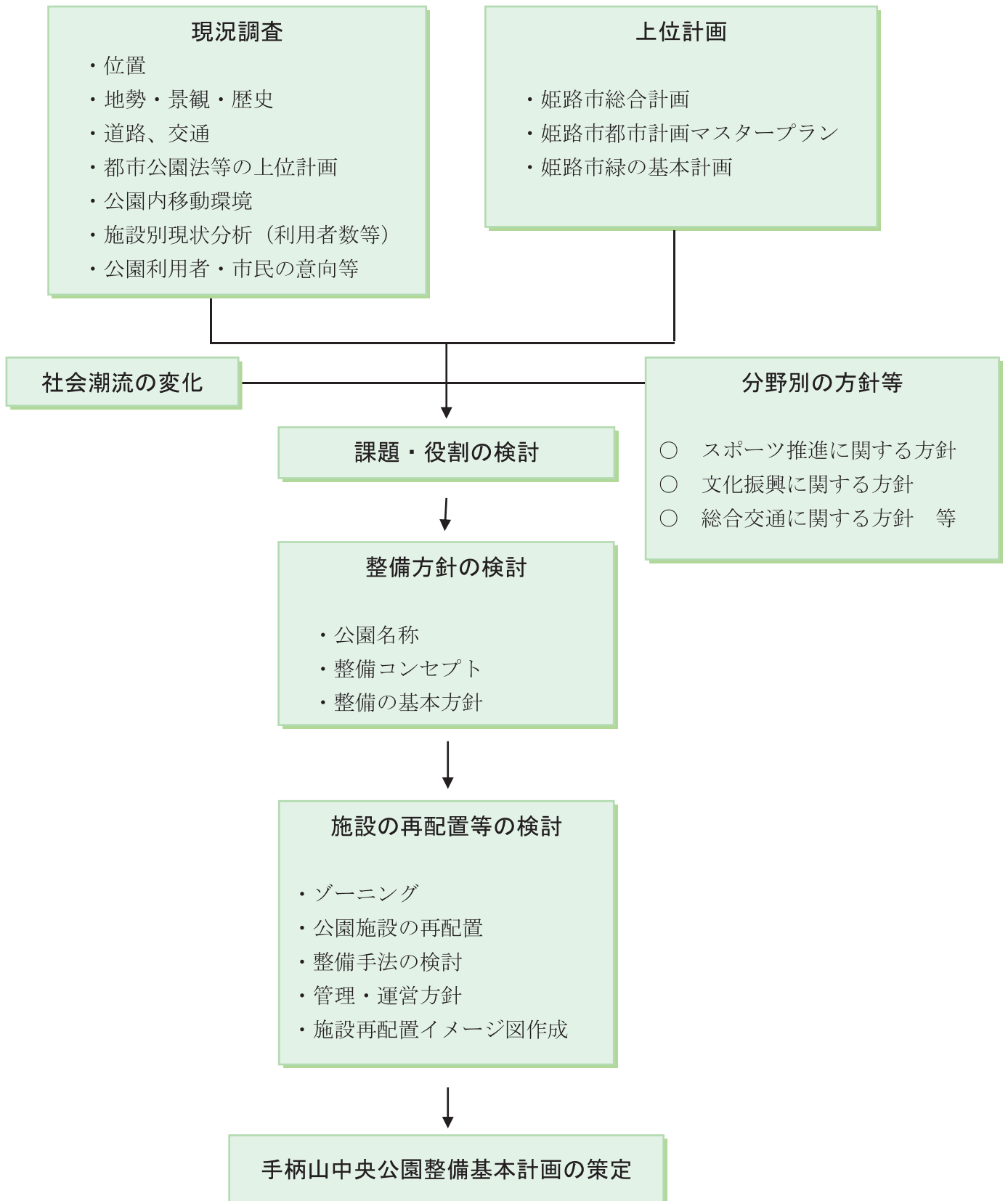
■平成12年に策定された手柄山中央公園整備計画調査報告書の評価結果
「概ね、調査報告書に沿った整備がなされている。」

◆「平成12年 手柄山中央公園整備計画調査報告書」における施設配置方針

存続施設 13施設の内 12施設存続	慰霊塔、平和資料館、姫路球場、陸上競技場、市民プール、 <u>手柄テニスコート※</u> 、中央体育館、緑の相談所、手柄山温室植物園、文化センター、水族館、スリラー塔、ロックガーデン ※廃止
新設施設 8施設の内 4施設整備	県立武道館、 <u>立体駐車場（2箇所※）</u> 、平面駐車場（1箇所）、多目的広場、 <u>レストハウス</u> 、 <u>簡易休憩所</u> 、 <u>情報案内板※</u> ※未整備（立体駐車場は1箇所未整備）
廃止施設 9施設の内 7施設廃止	手柄山体育館、養寿園、婦人会館、手柄山青年の家、勤労青少年ホーム、埋蔵文化財収蔵庫、 <u>回転展望台※</u> 、売店・喫茶楽園、 <u>手柄山遊園大型遊戯施設※</u> ※存続している施設（手柄山遊園大型遊戯施設は、平成28年1月に営業運転を終了している）

5. 検討フロー

以下のフローに従い、基本計画を策定する。



第2章 手柄山中央公園の概要

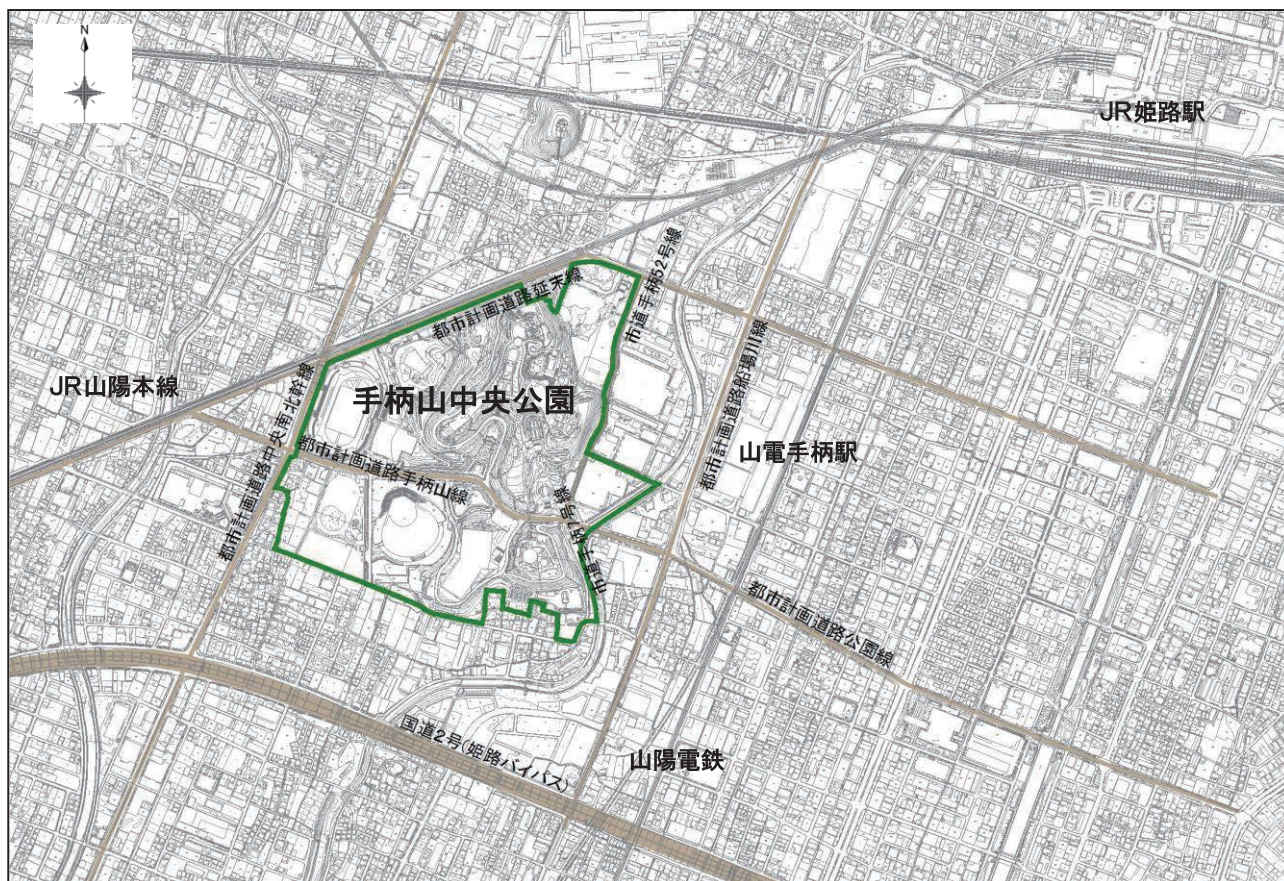
1. 位置

手柄山中央公園は、中心市街地の南西部に位置し、JR山陽本線を挟んで姫路城と対峙した地区にある手柄山周辺を開発した公園で、都心部の大規模緑地を形成している。山頂付近から北側は、世界文化遺産・国宝姫路城や周辺市街地を眺望でき、南側は瀬戸内海を一望できる。

土地利用上の条件として、主に住居の環境を守る「第二種住居地域」に用途指定されており、総合公園として都市計画決定がなされている。

交通状況は、北側に都市計画道路延末線、西側には都市計画道路中央南北幹線、中央部には、都市計画道路手柄山線が横断しており、さらには、南側に近接して姫路バイパスが通過している。また、JR姫路駅からは約1km南西に、山陽電鉄手柄駅からは約400m西に位置しており、交通アクセスは良く、園内には、約1,600台以上の駐車場が整備されている。

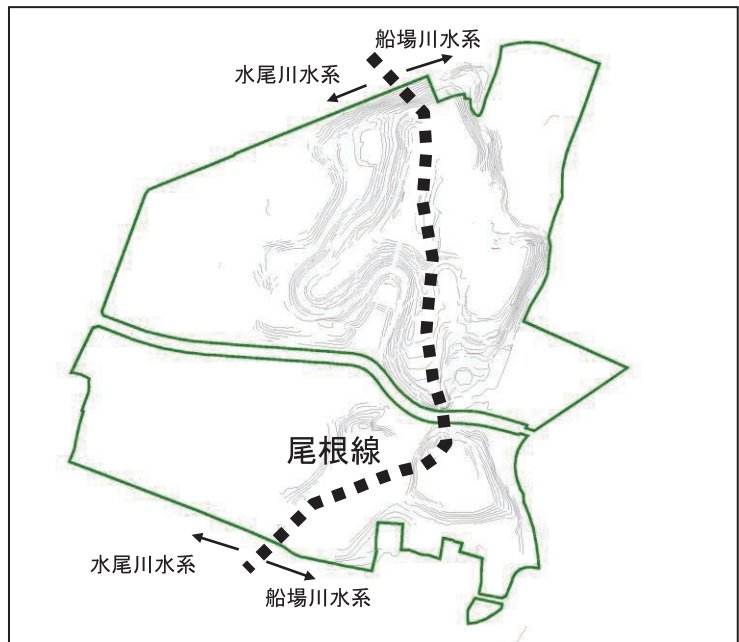
■位置図



2. 地勢

手柄山中央公園の中央部は、平野部にある独立丘陵となっており、最も高い慰霊塔付近で、標高約49m、最も低い南西部と南東部で標高は6m、標高差は約43mある。ほぼ中央部に尾根が走り、尾根によって2級河川船場川と2級河川水尾川水系に分断されている。また、尾根の東側はやや急峻な地形となっており、西側はやや穏やかである。

■地形図（等高線のみ表示）



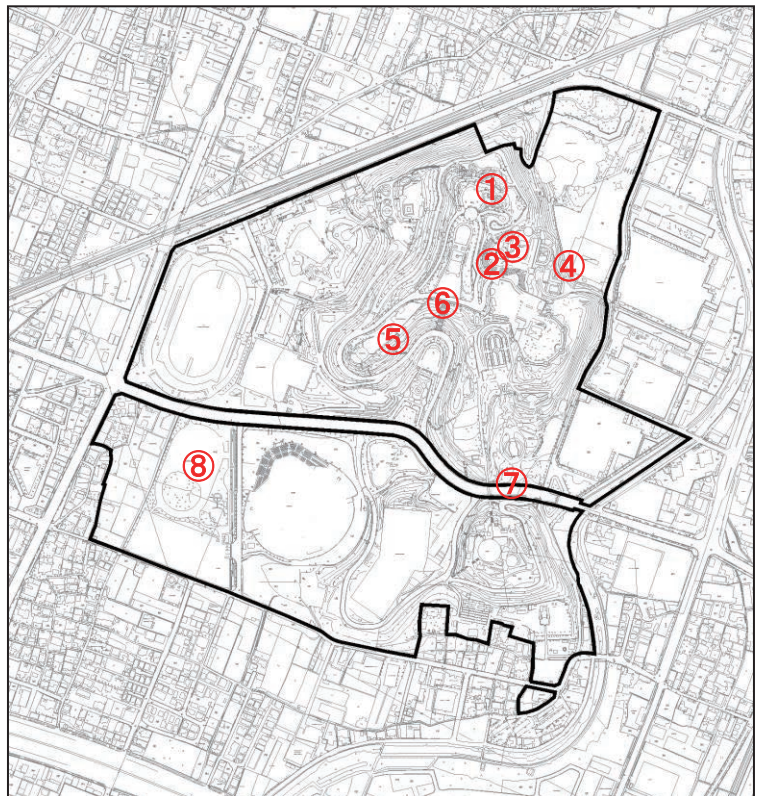
3. 景観

手柄山中央公園は、市街地の緑の空間として貴重な自然景観を形成している。

四季を通じて様々な緑の景観を楽しむことができ、特に、桜のシーズンには、多くの花見客で賑わい、市民の憩いの場となっている。山頂周辺は眺望もよく、市の中心部や瀬戸内海を望むことができる。

また、公園内には姫路大博覧会当時をしのぶ建造物やモノレール等も展示している。

■景観写真位置図



① スリラー塔



② 高台より公園南側を望む



③ 高台より公園北側を望む



④ 姫路モノレール



⑤ 緑に浮かぶ回転展望台



⑥ 木立の中の遊歩道



⑦ 公園内を通る都市計画道路



⑧ 多目的広場



4. 歴史

手柄山中央公園は、昭和 17 年 12 月 16 日に内務省告示を得て、以来数次に亘る公園区域の変更を経て、現在、都市計画決定面積 42.9ha、開設面積 38.17ha の総合公園として、スポーツ施設をはじめ文化教養施設や修景施設など様々な施設が配置されている。

手柄山の名は、播磨國風土記に現れる「手苧丘（てがりをか）」に由来し、手柄山から船場川にかけての広範囲に弥生時代を中心とした遺跡が点在しており、江戸時代には刀鍛冶が居住し作刀していたことから、園内にはこれを記念して刀匠塚が設けられている。

また、昭和 31 年に太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔が建立されたことや昭和 41 年に姫路大博覧会のメイン会場となったことから、昭和 30 年代～昭和 40 年代にかけて一気に開発が行われた。その後、施設の老朽化や時代のニーズに対応するため施設の新設、統廃合を重ね今日に至っている。

■手柄山中央公園の公園名・公園区域の主な変遷

公園名	告示年月日	計画面積	備考
手柄山公園	昭和 17 年 12 月 16 日	9.2ha	
中央公園	昭和 28 年 9 月 11 日	37.0ha	慰霊塔建立の起工を記念して名称変更 (昭和 31 年 10 月建立)
手柄山中央公園	昭和 42 年 3 月 7 日	42.7ha	姫路博覧会の開催を記念して名称変更
手柄山中央公園	昭和 61 年 9 月 16 日	42.9ha	現在の計画面積となる

■園内施設の主な変遷

手柄山中央公園は、中心市街地の丘陵地である手柄山（標高約49m）を立体公園として整備した総合公園で、都心部の貴重な緑のオープンスペースとして活用されている。園内施設の主な変遷は次のとおりである。

（昭和30年代に設置された施設）

昭和30年代に建設された施設は、「用途廃止」、「大規模改修」、「公園外へ移転」等、施設の見直しがなされている。

竣工年	施設名	平成28年3月末現在
昭和30年	バレーボールコート	テニスコートに用途変更後 廃止 多目的広場として再整備中
昭和31年	太平洋戦全国戦災都市 空爆死没者慰霊塔	現存
昭和33年	野外音楽堂	廃止
昭和34年	市立図書館	廃止 姫路城周辺へ移転 H2
	青年の家	廃止 H17
	姫路球場	現存 大規模改修 H25
昭和35年	手柄山体育館	廃止 跡地：第1 立体駐車場 H13
昭和37年	厚生会館	廃止 跡地：県立武道館 H14
	修景池	廃止 跡地：駐車場 H25
昭和38年	(旧) 市民プール	廃止 跡地：水族館
	科学館	廃止 桜山公園へ移転 H5
	花時計	廃止
昭和39年	ローラースケート場	廃止 跡地：サンクガーデン
	展望台兼レストラン	廃止 跡地：緑の相談所 H元
	老人福祉センター養寿園	廃止 跡地：手柄山管理事務所 H25
	陸上競技場	現存

(昭和40年代に設置された施設)

昭和40年代に建設された施設も概ね「用途廃止」、「大規模改修」、「公園外へ移転」等、施設の見直しがなされている。

竣工年	施設名	平成28年3月末現在
昭和40年	勤労青少年ホーム	廃止
	婦人会館	廃止 跡地：温室植物園駐車場
昭和41年	スリラー塔	現存
	水族館	現存 H23.7 リニューアルオープン
	回転展望台	現存
	モノレール手柄山駅舎	廃止 跡地：手柄山交流ステーション 水族館の一部
	交通公園（ゴーカート場）	廃止 跡地：手柄山遊園
昭和47年	文化センター	現存 ※姫路駅周辺イベントゾーンへ移転予定
昭和49年	市民プール	現存 ※全面改修予定

(昭和50年代以降に設置された施設)

昭和50年代以降に建設された施設は現存している。

竣工年	施設名	平成28年3月末現在
昭和52年	手柄山遊園	現存 ※廃止予定
昭和55年	温室植物園	現存 ※園内に移設予定
昭和63年	中央体育館	現存
平成元年	緑の相談所	現存 ※園内に移設予定
平成6年	カスケード（流れる滝）	現存
平成8年	平和資料館	現存
平成13年	第1立体駐車場	現存
平成14年	県立武道館	現存
平成16年	多目的広場	現存
平成23年	手柄山交流ステーション	現存

■航空写真で見る「手柄山中央公園の開発の変遷」

手柄山中央公園内にある施設は、これまで、社会情勢の変化や施設の老朽化等のため利用者ニーズに対応した見直しを行い、新設、統廃合を重ねてきた。

航空写真からは、手柄山中央公園の開発の変遷を見ることができる。

(昭和33年)

昭和31年に慰霊塔が建立されたことに伴い、手柄山周辺が開発される様子が分かる。

写真下に建設中の姫路球場が見える。周辺はほとんど農地である。



(昭和43年)

昭和41年4月3日から6月5日までの2カ月間、姫路大博覧会が開催された。

これは戦後復興を果たし、戦後20年、播磨臨海工業地帯の中核都市として発展した本市の真価を世に問うもので、戦後最大規模の地方博覧会として170万人以上の入場者があった。このとき姫路駅から手柄山会場までを結ぶ交通手段としてモノレールが登場した。これは、博覧会から2年後の手柄山中央公園の航空写真である。

厚生会館や陸上競技場等も見て取れる。



(昭和 48 年)

文化センターが竣工している。

昭和 48 年は石油危機が起こり物不足、狂乱物価が叫ばれた。

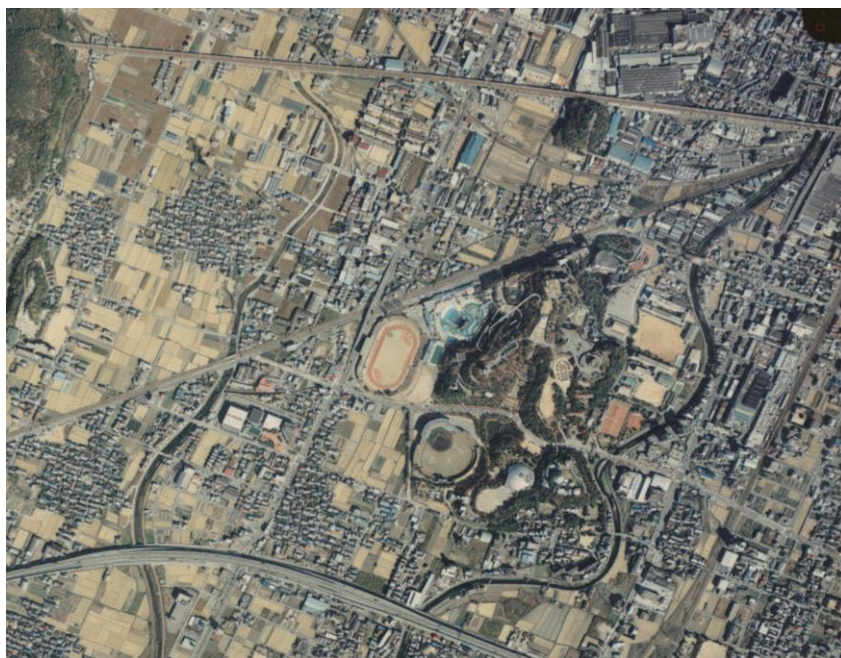
温室植物園や手柄山遊園等は、まだ整備されていない。



(昭和 61 年)

文化センター、温室植物園、手柄山遊園等の施設が見て取れる。

中央体育館は竣工していない。



(平成 16 年)

中央体育館、多目的広場が完成し、県立武道館も見て取れる。現在の手柄山中央公園とほぼ同じ施設配置である。



(平成 26 年)

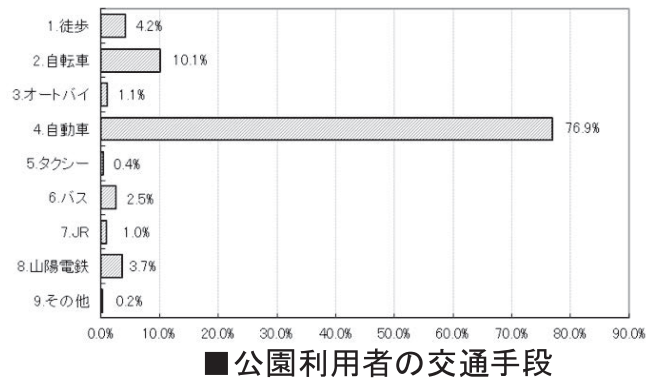
水族館は平成 23 年 7 月に、姫路球場は平成 26 年 3 月にリニューアルオープンしている。現在の手柄山中央公園である。



5. 道路・交通状況

手柄山中央公園は、姫路バイパス中地ランプの近傍に位置しており、公園の西側及び中央部を都市計画道路が走るなど、自動車でのアクセスは比較的容易で、公園利用者の大部分*が自家用車を利用して来園している。

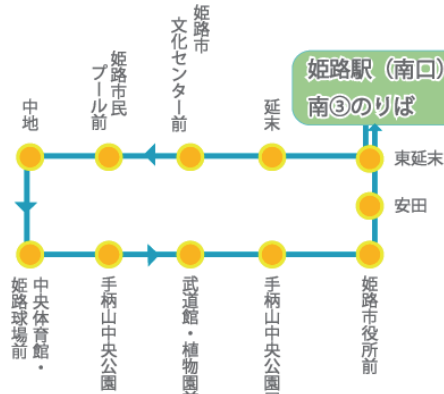
※公園利用者実態調査(平成26年11月3日実施)によると、来園者の76.9%が自動車を利用している。



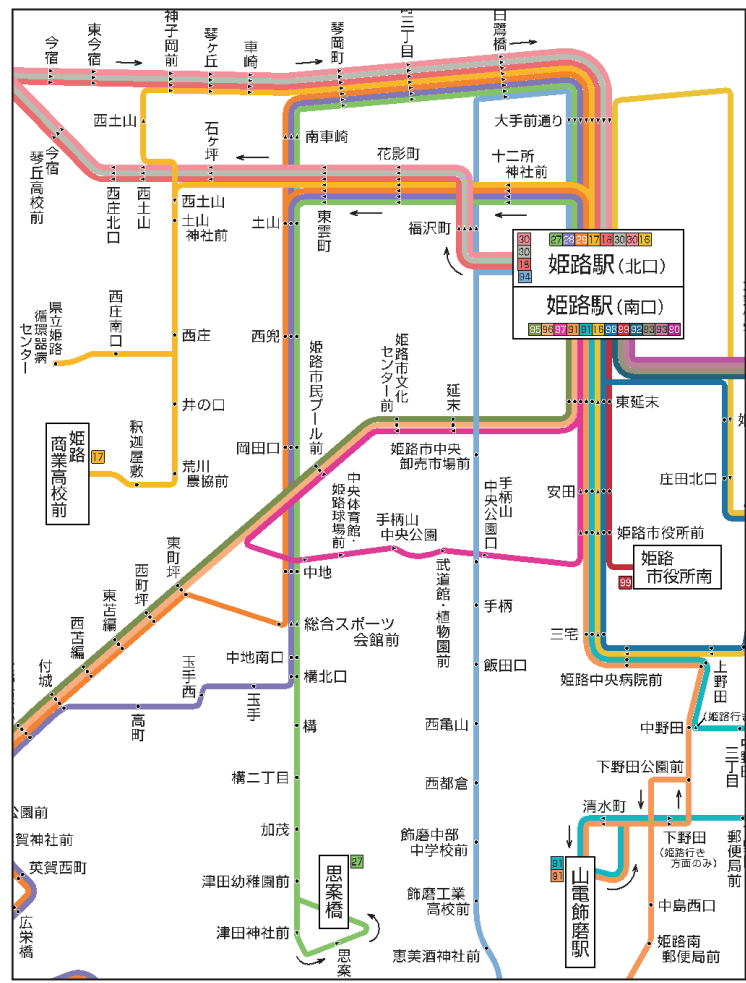
■公共交通

最寄りの公共交通は、山陽電鉄と神姫バスがあり、山陽電鉄手柄駅が公園の東約400mのところまに位置している。バスでのアクセスは、平成28年7月末現在、JR姫路駅周辺から7系統が運行している。その内、手柄山ループバスは、JR姫路駅南口から土日祝日、夏季限定(7/21~8月末まで)で運行している。

凡例	
16	姫路駅(北口)→片田・姫路市児童館→姫路駅(南口)
17	姫路駅(南口)→姫路市児童館→片田→姫路駅(南口)
18	姫路駅(南口)→姫路市児童館
19	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
20	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
21	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
22	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
23	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
24	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
25	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
26	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
27	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
28	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
29	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
30	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
31	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
32	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
33	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
34	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
35	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
36	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
37	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
38	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
39	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
40	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
41	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
42	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
43	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
44	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
45	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
46	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
47	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
48	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
49	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
50	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
51	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
52	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
53	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
54	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
55	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
56	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
57	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
58	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
59	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
60	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
61	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
62	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
63	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
64	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
65	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
66	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
67	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
68	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
69	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
70	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
71	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
72	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
73	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
74	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
75	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
76	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
77	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
78	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
79	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
80	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
81	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
82	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
83	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
84	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
85	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
86	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
87	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
88	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
89	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
90	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
91	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
92	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
93	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
94	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
95	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
96	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
97	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
98	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
99	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園
100	姫路駅(南口)→姫路市児童館→山陽中央公園→山陽中央公園



■ループバスのルート



■公園周辺のバス路線

6. 都市公園法上の条件

手柄山中央公園は、その極めて高い利便性から様々な建築物・遊戯施設等が設けられている。今後の再整備に向けた検討を行うにあたり、都市公園法に適合した整備を行うため、主な制限・基準についてまとめる。

1) 都市公園の分類

「手柄山中央公園は、総合公園に位置づけられる。」

総合公園は、都市住民全般の利用に供することを目的に設置される公園で都市の規模に応じて配置し、それぞれその利用目的に対応した、都市公園としての機能を十分発揮することができるように、その敷地面積を定めることとされている。

種 類	種 別	内 容
都市基幹公園	総合公園	都市住民全体の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で、都市の規模に応じ1箇所当たり面積10ha～50haを基準として配置する。

2) 都市公園の建ぺい率

都市公園のオープンスペースを確保するため、公園内に設置する建築物には制限が設けられている。

都市公園法第4条第1項では、公園施設の設置基準として、「一の都市公園に公園施設として設けられる建築物の建築面積の総計の当該都市公園の敷地面積に対する割合は百分の二を参酌して当該都市公園を設置する地方公共団体の条例で定める割合を超えてはならない。」と規定されており、それを受けて、姫路市立公園条例第3条の4で、その割合を100分の2と定めている。

また、特例措置としてその施設に応じて、建ぺい率を加算できることとされている。

■建ぺい率

公園施設の種別		建ぺい率
建築物		2%
特例	休養施設、運動施設、教養施設、備蓄倉庫、災害応急対策に必要な施設	+10%
	開放性の高い休養施設等	+10%
	休養施設又は教養施設のうち、国宝や重要文化財等	+20%
	仮設公園施設	+2%

※手柄山中央公園の建ぺい率は、通常分の2%に特例分10%を加えることができる。

■手柄山中央公園の建ぺい率

公園の建ぺい率基準については、平成23年8月に成立した地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（平成23年法律第105号）における改正により、国が一律に定めていた基準について、地域の実情に応じた最適な行政サービスの提供を実現する観点から、当該基準を参酌して地方公共団体自ら条例で定めることとされている。現在、本市においても都市公園法の基準に沿った条例改正を行っている。

今後、文化センターの姫路駅周辺イベントゾーンへの移転が予定されているが、現状、公園開設面積に対する建築面積の割合は、約11.5%となっており、新たな施設を設置する場合、建ぺい率を遵守する必要がある。しかし、行政上の要請から、現行の建ぺい率制限を逸脱する場合、条例改正を伴う緩和措置を検討する。

3) 公園施設の設置基準

- ・運動施設の敷地面積の総計は、当該都市公園の敷地面積の50%を超えてはならない。
- ・メリーゴーラウンド、遊戯用電車その他これらに類する遊戯施設で、その利用について料金を取るものは5ha以上、ゴルフ場は50ha以上の都市公園でなければ設けてはならない。
- ・都市公園に宿泊施設を設ける場合は、当該都市公園の効用を全うするため特に必要があると認められる場合以外は設けてはならない。

4) 公園管理者以外が設置する公園施設

- ・売店、飲食店等、公園管理者が自ら経営することが不適当なものや、専門性などの理由により公園管理者が設置して管理することが困難な施設は、公園管理者以外でも許可を受けて設置又は管理することができる。とされている。
- ・公園の機能の増進に資する場合についても、第三者が公園施設の設置又は管理を行うことができる。

7. 上位計画における位置づけ

1) 総合計画（目標年度：平成32年度）

姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」では、目指すべき都市像として「生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路」と定め、実現のための基本目標と都市像実現のための4つの推進エンジンを設定している。

また、手柄山中央公園は、『自然豊かで快適な環境・利便都市』という基本目標を実現するための施策として、「都心部近郊にある緑とスポーツの拠点」として整備すると位置づけている。

■都市づくりの基本理念

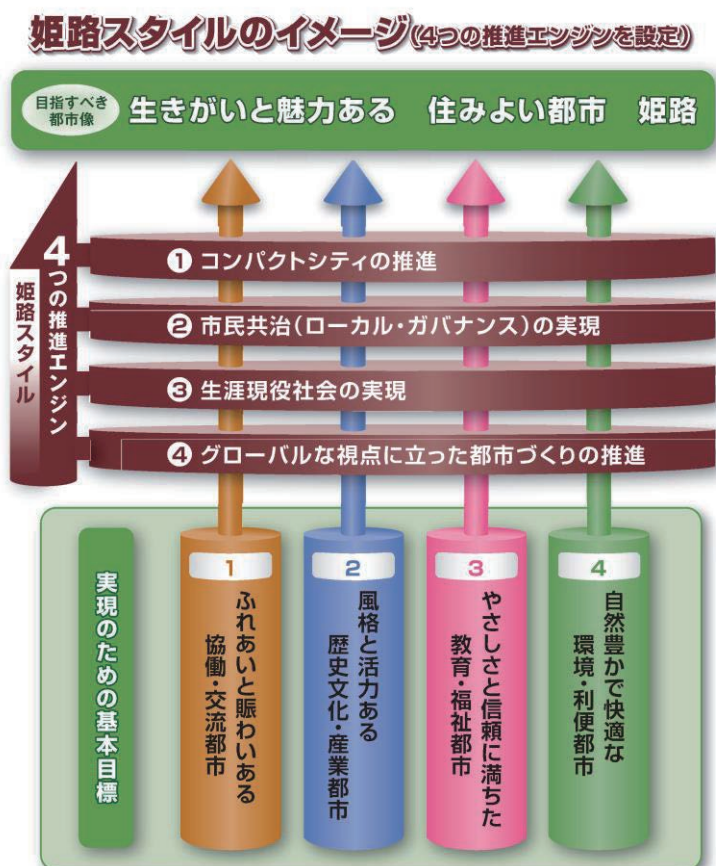
- ・人と人との共生
- ・自然との共生
- ・歴史・文化との共生

■目指すべき都市像

- ・生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路

■実現のための基本目標

- ・ふれあいと賑わいある 協働・交流都市
- ・風格と活力ある 歴史文化・産業都市
- ・やさしさと信頼に満ちた 教育・福祉都市
- ・自然豊かで快適な 環境・利便都市



2) 都市計画マスタープラン（目標年：平成42年）

姫路市都市計画マスタープランでは、手柄山中央公園は、本市の緑の拠点であり、スポーツ及びレクリエーションの場として活用を進めるとしている。

また、都市近郊にある緑とスポーツの拠点として利用環境の向上を図るとともに、「広域防災拠点」としての防災機能の向上や、文化センターの機能移転を踏まえ、手柄山中央公園のあり方と再配置の検討を行うとされている。



凡		例		
土地利用		都市施設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	主要公園・緑地・墓園
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	歴史街道軸	一級・二級河川
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R線	水辺
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄	自転車レーン等整備路線

■ 手柄山中央公園が位置する中部第二ブロックの将来像

3) 緑の基本計画（目標年度：平成32年度）

姫路市緑の基本計画では、手柄山中央公園は本市の「核となる緑」として位置づけており、スポーツ拠点や広域防災拠点として整備を進めるとされている。



8. 主な分野別の方針

1) スポーツ推進に関する方針

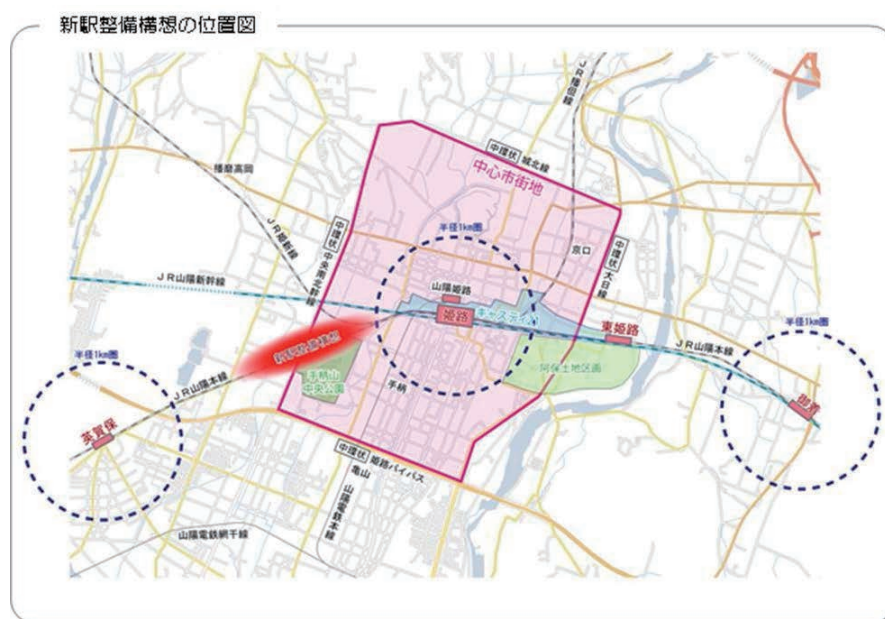
スポーツ推進に関して、「誰もが気軽にスポーツに関わりを持てる、生涯スポーツ社会の実現」を基本理念に、「健康な生活を支えるスポーツ環境の整備」、「スポーツ振興事業の展開」を基本目標に掲げており、体育施設の有効活用・改修、競技スポーツの推進、スポーツによる地域経済の活性化等を基本方針としている。このため、老朽化した体育施設の計画的な再整備をはじめ、生涯スポーツの振興やアスリートの育成・強化、地域の活性化が期待できる大規模大会の誘致に取り組んでいくこととしている。

2) 文化振興に関する方針

文化振興に関して、「歴史文化の継承と魅力ある市民文化の創造」を基本目標に掲げ、「歴史文化遺産を未来に活かす」、「文化を担う人づくり」、「文化を支える環境づくり」を基本方針とし、「文化芸術を支える基盤の整備」等を施策の柱としている。これらの方針に基づき文化センターは、文化芸術振興の拠点施設として役割を担っていることから、施設老朽化や多様化する文化芸術活動に対応させるため、姫路駅周辺イベントゾーンへ移転させることとしている。

3) 総合交通に関する方針

公共交通を中心とした総合交通に関して、多数の文化・スポーツ施設が集積するJR山陽本線「姫路駅—英賀保駅間」において、鉄道網へのアクセス性を向上させるため、新駅整備構想を推進することとしている。



(姫路市総合交通計画から抜粋)

第3章 手柄山中央公園の現状分析

1. 土地利用状況

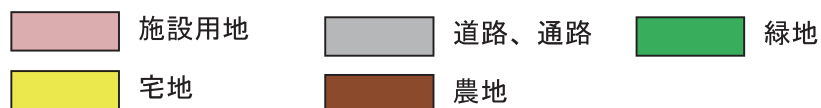
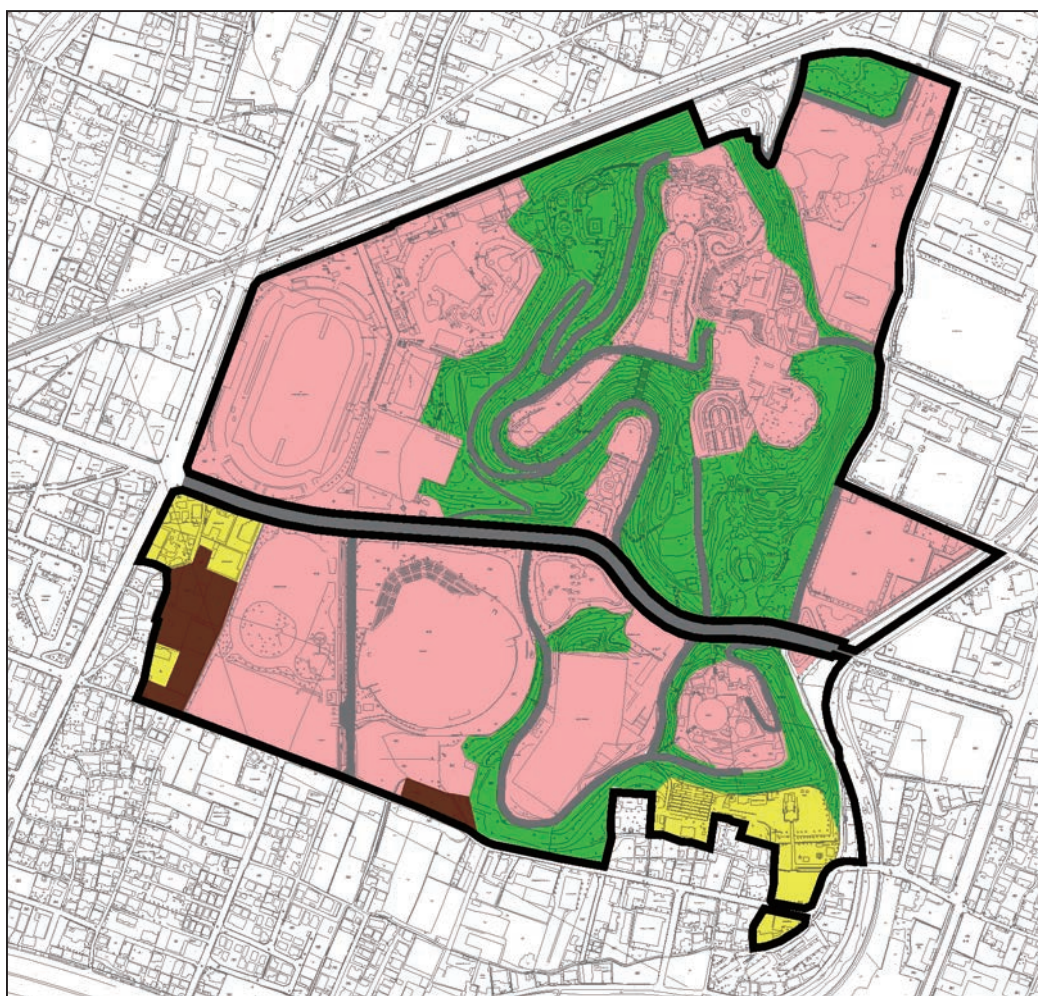
手柄山中央公園都市計画決定区域内の土地利用は下表の通りである。

都市計画決定区域面積42.9haのうち、施設用地が25.3ha、緑地が12.0haとなっている。緑地が占める割合は27.9%である。

■土地利用区分

土地利用	面積 (㎡)	比率 (%)
施設用地	252,830	58.9
道路、通路	27,790	6.5
緑地	119,600	27.9
宅地	19,290	4.5
農地	9,490	2.2
合計	429,000	100.0

※施設用地内等にも緑地部分が存在している。



2. 施設の現況

1) 施設配置

手柄山中央公園内には、山頂に立つ太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔を中心に、回転展望台、平和資料館、水族館、温室植物園、緑の相談所、文化センター、手柄山遊園、市民プール、中央体育館、陸上競技場、手柄山交流ステーションなどの文化・スポーツ施設等、多種多様な施設が整備されている。

園内施設の老朽化等のため、水族館、旧姫路市営モノレール駅舎、姫路球場等はすでに大規模改修を実施している。

しかし、中央体育館や手柄山遊園等々、老朽化が進んでいる施設が多く存在しているため、早急に対策を講じる必要がある。

また、新駅の整備構想や文化センターの移転による跡地利用等、新たな課題も発生しており、施設の再配置を中心とした新たな基本計画が必要とされている。

2) 進行中の公園事業

平成20年3月に借地していた公園東側のテニスコート（1.4ha）を廃止し、現在、跡地を多目的広場として再整備を行っている。今後は、山陽電鉄手柄駅からのエントランスゾーンとしての機能も含め整備を行う。

3) 権利関係の現況

本公園の施設用地には、下記のとおり借地している土地がある。

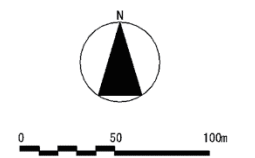
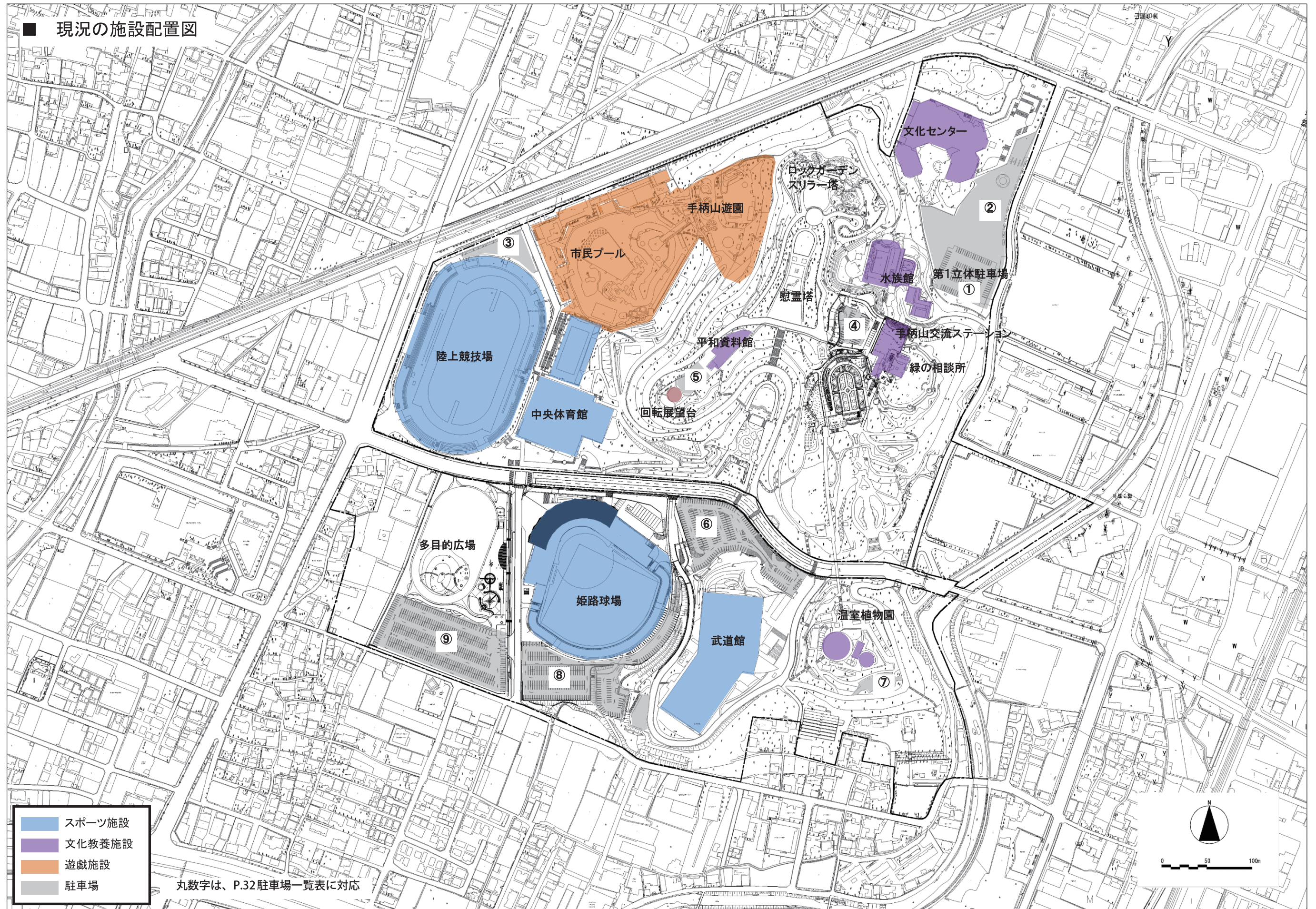
●手柄山温室植物園

- ・敷地面積：11,334m²
- ・借地面積：8,264m²（借地割合73%）
- ・相手方：地権者1名

●陸上競技場

- ・敷地面積：19,800m²
- ・借地面積：2,122m²（借地割合10.7%）
- ・相手方：地権者4名

■ 現況の施設配置図



4) 公園内施設の管理・運営状況

園内施設は、施設の目的に応じた部局がそれぞれ所管している。

また、管理運営状況について、指定管理を導入している施設と直営で運営している施設があり、市の外郭団体である「一般財団法人姫路市まちづくり振興機構」が管理運営している主な施設は、指定管理を含め7施設である。

局	所管課	施設名	管理・運営
観光交流局	スポーツ推進室	陸上競技場	指定管理 (一財) 姫路市まちづくり振興機構
		姫路球場	指定管理 (一財) 姫路市まちづくり振興機構
		中央体育館	指定管理 (一財) 姫路市まちづくり振興機構
		市民プール	(一財) 姫路市まちづくり振興機構
	文化国際課	文化センター	指定管理 (公財) 姫路市文化国際交流財団
建設局	公園緑地課	スリラー塔・ロックガーデン等、修景施設	直営
		温室植物園	指定管理 (一財) 姫路市まちづくり振興機構
		緑の相談所	直営
		回転展望台	民間
		手柄山交流ステーション	直営
		駐車場	(一財) 姫路市まちづくり振興機構
健康福祉局	地域福祉課	慰霊塔	(一財) 太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会
	平和資料館	平和資料館	直営
教育委員会	水族館	水族館	直営
兵庫県		兵庫県立武道館	指定管理 兵庫県体育協会グループ
(一財) 姫路市まちづくり振興機構		手柄山遊園	(一財) 姫路市まちづくり振興機構

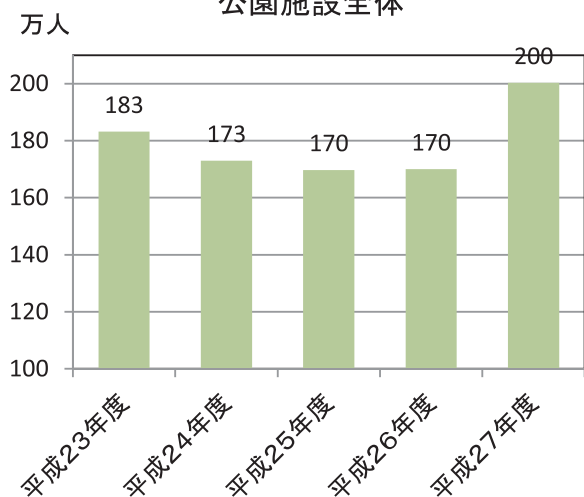
5) 公園内施設の現況

(人)

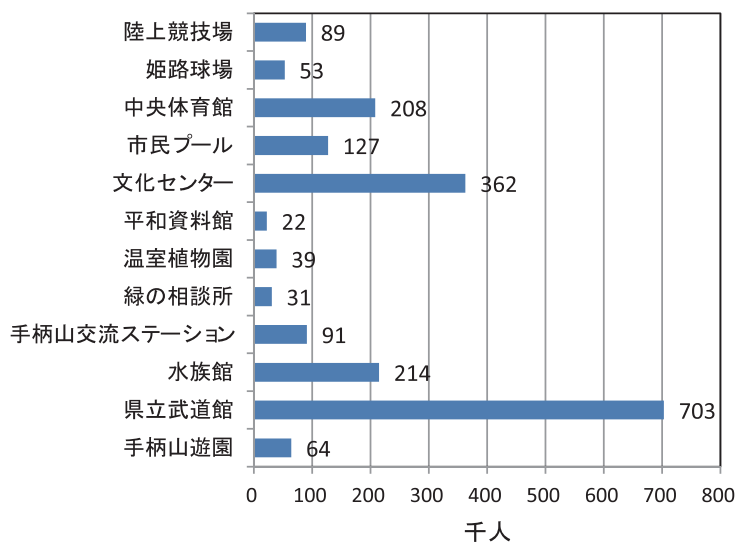
施設名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平均 利用者数
陸上競技場	49,911	84,437	88,446	103,203	89,290	83,057
姫路球場	46,845	※ —	※ —	45,873	52,660	48,459
中央体育館	91,142	173,128	169,063	178,217	207,764	163,863
市民プール	142,930	153,125	138,662	121,262	126,963	136,588
文化センター	347,843	331,286	374,602	310,093	362,443	345,253
温室植物園	36,336	37,119	30,458	38,212	38,818	36,189
緑の相談所	33,746	30,335	26,790	29,492	30,574	30,187
手柄山交流 ステーション	160,356	98,709	83,652	86,954	91,022	104,139
平和資料館	22,841	16,490	15,265	15,276	21,899	18,354
水族館	302,863	227,525	199,143	207,707	214,407	230,329
県立武道館	531,713	511,108	509,690	506,068	702,880	552,292
手柄山遊園	64,743	66,110	61,486	57,401	63,967	62,741
計	1,831,269	1,729,372	1,697,257	1,699,758	2,002,687	1,811,451

※姫路球場は平成24年度、25年度は大規模改修のため休場。

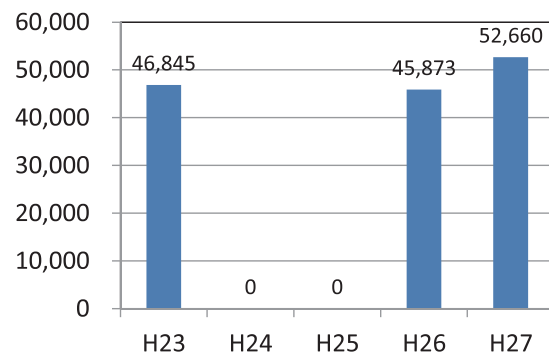
公園施設全体

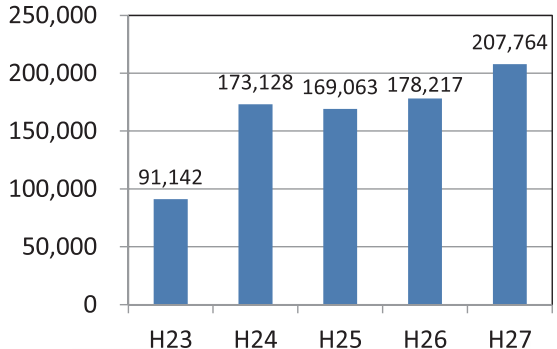



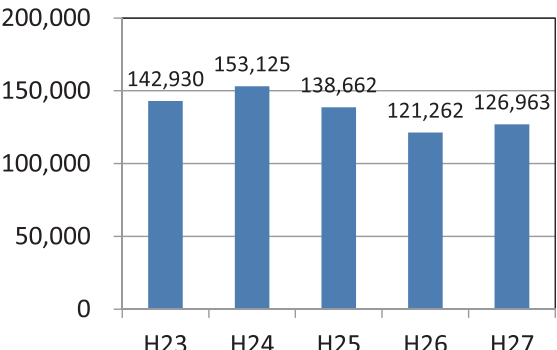

施設別利用者数 (平成27年度)



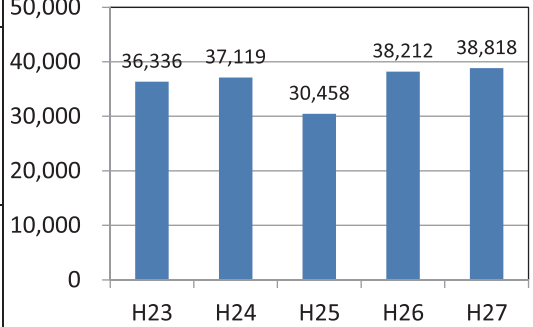

施設名	陸上競技場	■利用者の推移 陸上競技場 
建築年	昭和39年	
概要	陸上競技の拠点、東京オリンピックに合わせ竣工、第1種公認競技場（H28.3.末現在）	
施設内容	（構造）鉄骨鉄筋 コンクリート造 （階層）地上2階建 （競技場規模）19,800㎡	
管理主体	（一般財団法人） 姫路市まちづくり振興機構	
現況・課題	◇施設の老朽化 ◇借地の解消 ◇サッカー等の多目的利用への対応 ◇将来的には大規模改修が必要	
		

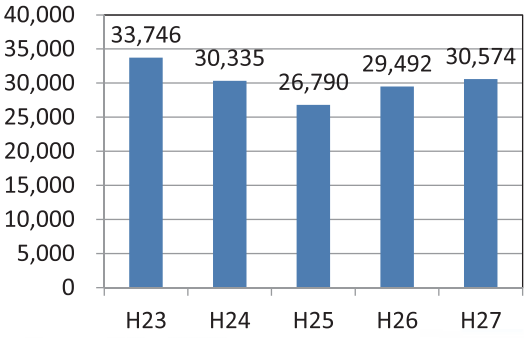

施設名	姫路球場	■利用者の推移 姫路球場 
建築年	昭和34年 平成26年3月 リニューアルオープン	
概要	球技スポーツの拠点 プロ野球オープン戦や高校野球、社会人野球等、市民球場として利用されている。	
施設内容	（構造）鉄筋コンクリート造 （階層）地上3階建 （敷地面積）19,520㎡	
管理主体	（一般財団法人） 姫路市まちづくり振興機構	
現況・課題	◇駐車場不足 ◇収益率の改善 ◇休日利用が飽和状態 ※平成24年度、25年度は大規模改修のため休場	
		


施設名	中央体育館	■利用者の推移 中央体育館 
建築年	昭和63年	
概要	屋内スポーツの拠点 バスケットボールやバレーボール、バトミントン、卓球等、屋内球技スポーツの拠点として利用されている。	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 (階層) 3階建 (敷地面積) 11,300㎡	
管理主体	(一般財団法人) 姫路市まちづくり振興機構	
現況・課題	◇施設の老朽化 ◇雨漏り、観客席の傷み等 ◇床板の腐食・壁の剥離等 ◇将来的には大規模改修が必要	

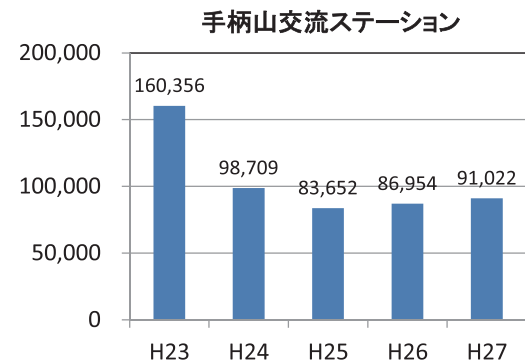

施設名	市民プール (手柄山遊園内)	■利用者の推移 市民プール 
建築年	昭和49年	
概要	競技用屋外50m・25mプールとレジャープールとの併用 夏場に水泳競技大会を開催	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (敷地面積) 36,004㎡ 屋外50m・25mプール、造波プール、流水プール、幼児プール、ファミリープール、スライダー2種	
管理主体	(一般財団法人) 姫路市まちづくり振興機構	
現況・課題	◇夏場の7月、8月の約2ヶ月営業 ◇施設の著しい老朽化 ◇配管等、機械設備の老朽化 ◇部品がなく補修工事が困難	

施設名	文化センター	■利用者の推移 文化センター  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>347,843</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>331,286</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>374,602</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>310,093</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>362,443</td> </tr> </tbody> </table> 	年度	利用者数	H23	347,843	H24	331,286	H25	374,602	H26	310,093	H27	362,443
年度	利用者数													
H23	347,843													
H24	331,286													
H25	374,602													
H26	310,093													
H27	362,443													
建築年	昭和47年													
概要	文化教養の拠点 音楽、演劇、舞踊、講演等の拠点として利用されている。													
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 地上5階 地下1階 (敷地面積) 21,912m ² 大ホール 客席1,657 立見300 小ホール 客席493、立見150 リハーサル室 展示室等													
管理主体	(公益財団法人) 姫路市文化国際交流財団													
現況・課題	◇施設の老朽化 ◇姫路駅周辺イベントゾーンへ移転													

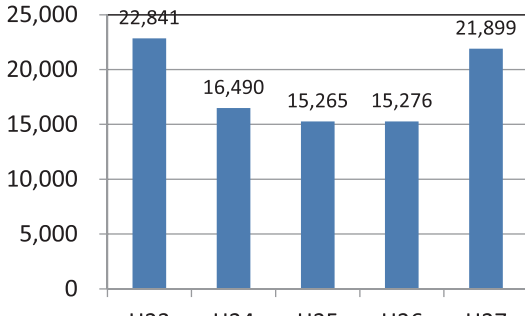

施設名	温室植物園	■利用者の推移 温室植物園  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>36,336</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>37,119</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>30,458</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>38,212</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>38,818</td> </tr> </tbody> </table> 	年度	利用者数	H23	36,336	H24	37,119	H25	30,458	H26	38,212	H27	38,818
年度	利用者数													
H23	36,336													
H24	37,119													
H25	30,458													
H26	38,212													
H27	38,818													
建築年	昭和55年													
概要	熱帯、亜熱帯、砂漠植物等の展示 サギ草の栽培普及を行っている。 (展示植物) 120科 1,500種 25,000株													
施設内容	(構造) 鉄骨造 (階層) 地上1階 展示大温室 展示小温室等 (敷地面積) 11,334m ²													
管理主体	(一般財団法人) 姫路市まちづくり振興機構													
現況・課題	◇雨漏り等の施設の老朽化 ◇緑の相談所との業務統合 ◇借地の解消 (借地割合73%) ◇高台にあり利便性が悪い													

施設名	緑の相談所	■利用者の推移 緑の相談所  <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>33,746</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>30,335</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>26,790</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>29,492</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>30,574</td> </tr> </tbody> </table>	年度	利用者数	H23	33,746	H24	30,335	H25	26,790	H26	29,492	H27	30,574
年度	利用者数													
H23	33,746													
H24	30,335													
H25	26,790													
H26	29,492													
H27	30,574													
建築年	平成元年													
概要	緑に関する相談、研修、普及業務													
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 地上2階 (延床面積) 482㎡													
管理主体	公園緑地課													
現況・課題	◇雨漏り等の施設の老朽化 ◇指定管理の導入 ◇展示会、講習会等、植物園との類似機能の整理、統合													

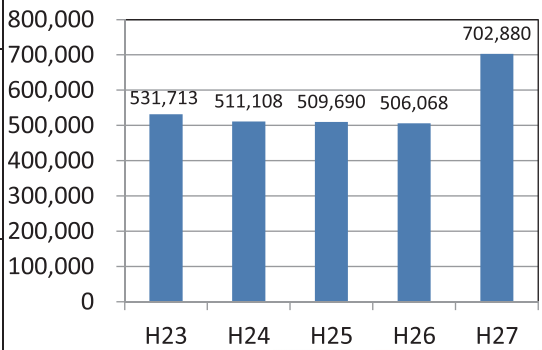
施設名	回転展望台	■利用者の推移 統計なし 
建築年	昭和41年	
概要	姫路大博覧会のテーマ塔として建立された。展望喫茶が入居している。	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 地上4階 展望喫茶 エレベーター	
管理主体	公園緑地課 (展望喫茶店は民間業者に施設使用を許可している。)	
現況・課題	◇クラック等の施設老朽化 ◇エレベーターは民間所有 ◇特定の民間人に対する使用許可	

施設名	手柄山交流ステーション	■利用者の推移 
建築年	昭和41年 モノレール駅舎を改修し平成23年4月にオープン	
概要	手柄山の各施設を結ぶ拠点として整備。 水族館との併設施設。モノレール展示室や緑化研修を行う研修室がある。	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 (階層) 地上3階 1階 水族館 2階 水族館・モノレール展示室 3階 多目的ホール、研修室等 (敷地面積) 4,216㎡	
管理主体	公園緑地課	
現況・課題	◇手柄山の拠点機能 ◇来館者の減少 ◇イベント等の開催 ◇水族館との事務整理	

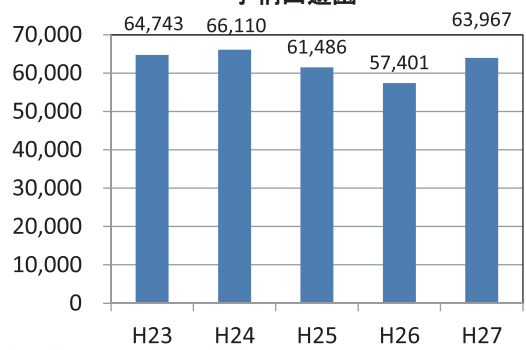
施設名	太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔	■利用者の推移 統計なし 
建築年	昭和31年	
概要	太平洋戦争の全国戦災空爆都市死没者、罹災者の慰霊のため建立された。日本地図が刻まれ、113戦災都市の位置に円い石を填入標示。地図の下に「空爆戦没者の霊此のところに眠る」と刻んでいる。 塔の形は、武器の象徴である剣を地中に突き立てた形で「もう戦争はしない」ということを表現している。	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 高さ26.75m、 前室196㎡ 毎年10月に追悼平和祈念式を行っている。	
管理主体	(一般財団法人) 太平洋戦全国空爆犠牲者慰霊協会	
現況・課題	◇施設の老朽化 ◇改修費用の調達	

施設名	平和資料館	■利用者の推移 平和資料館  
建築年	平成8年	
概要	戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和に対する意識の高揚を図り、平和な社会の発展に寄与する。	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 地上2階 (敷地面積) 1,716㎡ 1階 常設展示室、図書室等 2階 多目的展示室等	
管理主体	平和資料館	
現況・課題	◇施設の老朽化 ◇常設展示室のあり方検討 ◇入場者数の伸び悩み ◇学芸員が配置されていない	

施設名	水族館	■利用者の推移 水族館  
建築年	昭和41年 平成23年7月 リニューアルオープン	
概要	平成23年7月にリニューアルオープン。駅舎を改修した新館は、里地の自然をテーマに播磨の水生生物の展示を行っている。旧館は、里海の自然をテーマに瀬戸内海の魚を中心に展示している。 新館 淡水生物 約229種 5,407点 旧館 海産生物 約258種 4,211点	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 (階層) 地上3階 地下1階 (敷地面積) 8,210㎡ 観覧水槽、タッチプール等	
管理主体	水族館	
現況・課題	◇配管・設備等の老朽化 ◇入館者増に向けた企画展開催 ◇集客力向上対策 ※平成22年度は大規模改修のため休館	

施設名	県立武道館	■利用者の推移 県立武道館 
建築年	平成14年	
概要	武道の拠点 全国レベルの武道大会の開催 武道教室等を実施 園内施設で最も利用者が多い。	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 地上2階地下1階 (敷地面積) 20,326㎡ 競技場、トレーニングルーム等	
管理主体	兵庫県体育協会グループ	
現況・課題	◇施設の老朽化に伴う 修繕費の増 ◇大規模行事が重なった場合の 駐車場不足	



施設名	手柄山遊園	■利用者の推移 手柄山遊園 
建築年	昭和52年	
概要	市民プールと併設した遊園地 老朽化に合わせて大型遊戯施設 の運転は平成28年1月に終了	
施設内容	(構造) 鉄筋コンクリート造 (階層) 地上2階建 (敷地面積) 13,003㎡ (遊戯施設) 観覧車、ジェットコースター等を廃止	
管理主体	(一般財団法人) 姫路市まちづくり振興機構	
現況・課題	◇入園者の減 ◇採算がとれない ◇施設の老朽化 ◇プール営業中の駐車場不足 ◇低年齢層対象施設へ移行	



6) 駐車場の状況

手柄山中央公園内の駐車場は、施設毎に併設した無料駐車場を管理運営する方式を取っていたが、縦割りの運営方法では、施設毎に休館日も異なり、また、駐車場も園内に分散していることから、公園全体の駐車情報が利用者に伝わらず、非効率な駐車場運営となっていた。そこで、公園全体の駐車情報をいち早く把握し、駐車効率を向上させるため、平成13年度から駐車場の一元管理を行っている。

また、同時に公園内駐車場の管理運営経費の軽減や公園利用者以外の利用防止のため有料化を行っており、渋滞緩和のため、駐車場料金の時間制を取らず一律料金としている。現在、山陽電車や手柄山ループバス等の公共交通機関の利用促進に努めている。今後、文化センターの移転やJR姫路・英賀保間新駅の整備構想等により、本公園の交通状況が大きく変化するため、基本計画策定後、新たな交通計画の策定が必要とされている。

■ 駐車場 普通乗用車 1,642 台 大型バス 23 台 障害者用駐車場 38 台

駐車場名	駐車台数	現 状
① 手柄山第1立体駐車場	498	公園内最大の立体駐車場 主に水族館、文化センター等の来館者が利用している。
② 文化センター南駐車場	207(バス可)	主に文化センターの来館者が利用している。
③ 手柄山遊園前駐車場	63	主に手柄山遊園・市民プールの来園者が利用している。
④ 手柄山山頂駐車場 (緑の相談所前)	43	主に緑の相談所、手柄山交流ステーションの利用者が利用している。
⑤ 手柄山山頂駐車場 (平和資料館前)	34	主に平和資料館の来館者が利用している。
⑥ 武道館前駐車場	196	主に県立武道館、姫路球場の利用者が利用している。
⑦ 温室植物園前駐車場	26	主に温室植物園の来園者が利用している。
⑧ 野球場東駐車場	251	主に姫路球場、県立武道館等の利用者が利用している。
⑨ 野球場西駐車場	324(バス7)	主に姫路球場、県立武道館、市民プール等の利用者が利用している。

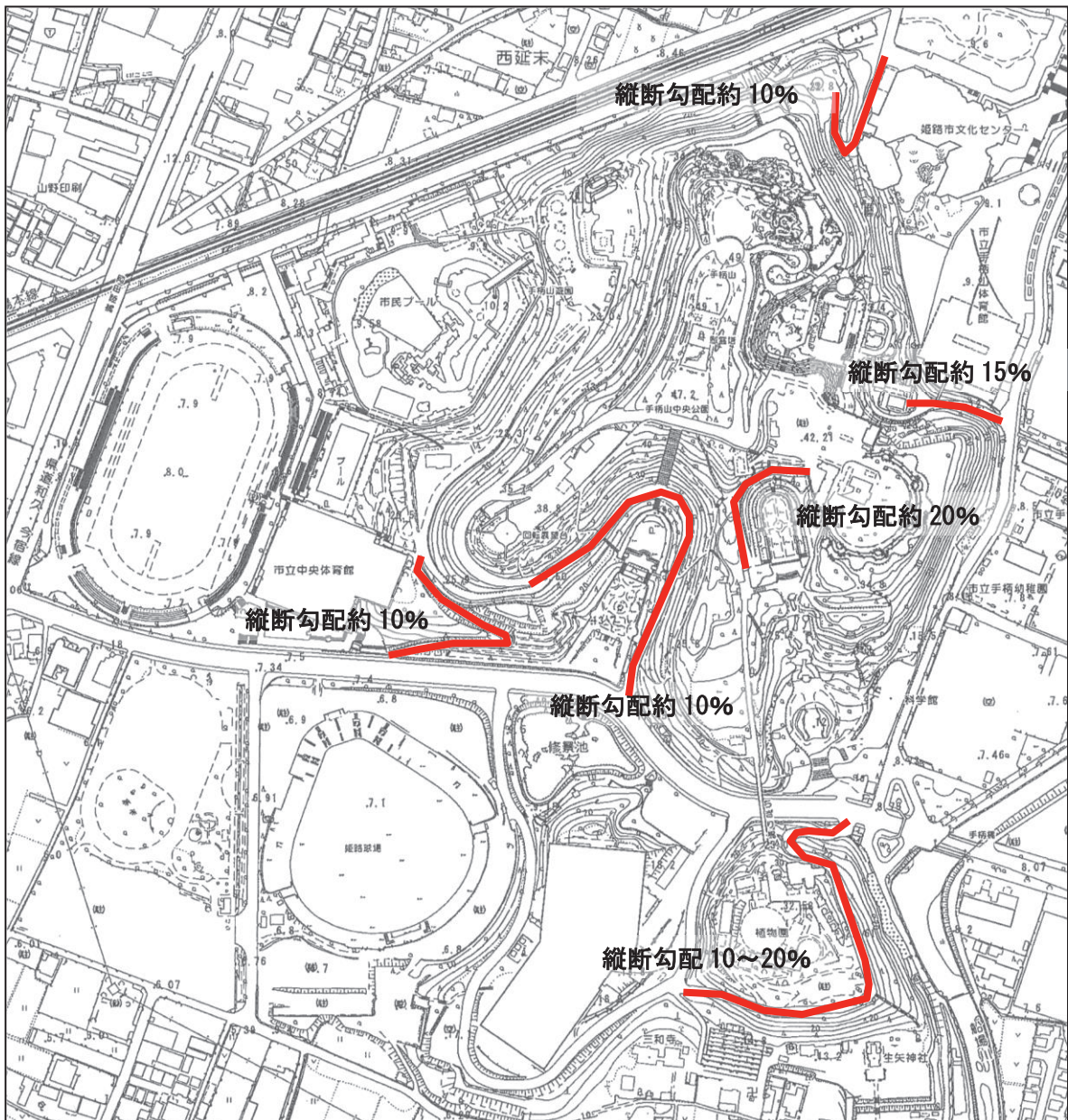
※駐車場の配置はp22現況の施設配置図参照

7) 公園内の移動環境

手柄山中央公園は市街地内の独立丘陵に設けられていることから公園内の標高差が約40mあるため園路にも勾配区画が多い。

縦断勾配が約10%以上ある区間は下図のとおりで、幹線道路や駐車場などから施設へのアクセス導入部にあたる箇所には急な上り（下り）坂が見られる。

園内の敷地は広大で、急勾配も多く施設間の歩行者動線が取りにくく施設間動線もわかりにくい。



3. 公園利用者の意向

1) 利用者の意向

手柄山中央公園に来園した利用者を対象に、来園目的や利用施設、良いところ、悪いところ、新駅の利用などに関する意向を把握した。

(1) 調査概要

○調査日時

- ・平成26年11月3日（月）、9時から16時（天候：晴れ）

○調査方法

- ・調査員が公園利用者（中高生は除く）に対して対面式でアンケート設問に対して聞き取る方式とした。

○アンケートの回答者数

- ・872人

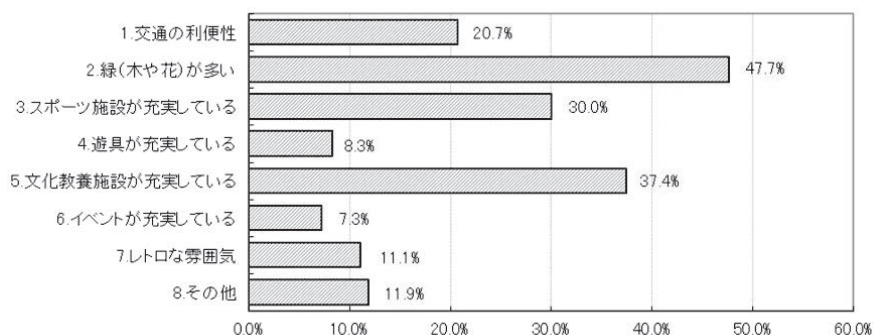
(2) 結果概要

【当日の状況】

- ・調査当日は休日で晴天あった。スポーツ大会やイベントも開催されており、駐車場は満車状態であった。このため、市外からの来園者が41.2%を占めている。
- ・家族連れも多く、交通手段としては自動車利用の来園者が76.9%となっている。

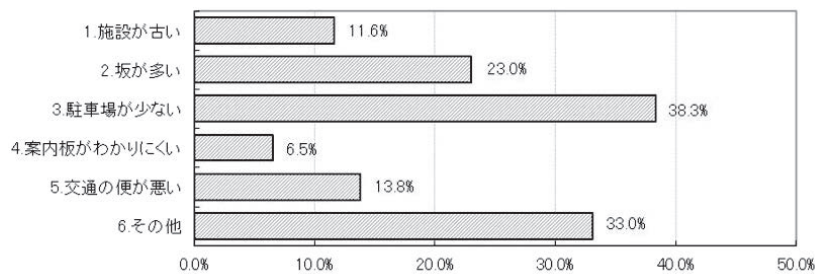
【公園のよいところ】

- ・「緑が多い」との回答が47.7%、「文化教養施設が充実している」との回答が37.4%、「スポーツ施設の充実している」との回答が30%であった。レトロな雰囲気との回答も11.1%あった。
- ・公園利用者は、手柄山中央公園が持つ様々な機能を評価している。



【公園のわるいところ】

- ・ 駐車場が満車状況であったため、「駐車場が少ない」との回答が 38.3%あった。
- ・ 「坂が多い」との回答も多く、「案内板がわかりにくい」との回答もあった。
- ・ その他の意見で多かったのは、「買い物や食事の出来る場所がない(少ない)」という指摘であった。「特になし」との回答も多くあり、概ね好評であった。

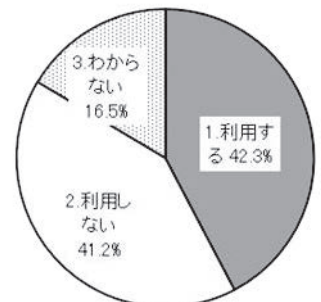


【公園名】

- ・ 公園名については、72.8%が変更しないほうがよいと回答しており、手柄山中央公園の名称が定着していることが伺える。

【新駅利用の意向】

- ・ 公園北にJR姫路・英賀保間新駅が整備された場合の利用意向については、「利用する」が回答者の42.3%であった。
- ・ 世代別では若年層や高齢者層に利用したい意向が高かった。
- ・ 体育館や球場などのスポーツ施設の利用者は、水族館等を利用している利用者よりも、新駅利用の意向が高い傾向が見られた。



【その他意見】

その他等の自由回答に関して、主な意見を下記に示す。

■ 公園の評価

- ・ 施設の利用料金が安い。きれいに管理されている。眺望がいい。
- ・ 食事や買い物の場所がない。移動動線が不便である。案内表示が悪い。

■ 公園名

- ・ 「中央」ではないのでは。
- ・ 「手柄」より「姫路」の方がわかりやすい。
- ・ この地域の名称である播州をつけたらどうか。

2) 市政モニター

市政モニターに対して、公園内の各種施設に関する意向を把握した。

(1) 調査概要

○調査期間

- ・平成 26 年 11 月 7 日（金）～11 月 21 日（金）

○調査方法

対象・人数	市政モニター100 人
調査方法	書面・インターネットを通じてアンケートに回答
回収率	調査対象 100 人に対して 有効回答数 95 人、有効回答数 95.0%
質問数	11 問

(2) 結果概要

【来園の状況】

- ・モニターの 95%が手柄山中央公園に来園したことがあり、その内、約 8 割が施設見学を目的としている。

【公園のよいところ】

- ・「緑が多い」や文化教養施設の充実をあげる意見が 6 割を超えている。
- ・交通の利便性が高いとの回答も 23%あった。

【公園のわるいところ】

- ・駐車場が少ない、交通の便が悪いとの回答が 4 割を超えている。
- ・施設が古い、坂が多いとの回答も多く、施設の再整備や移動動線について検討する必要がある。

【公園名】

- ・公園名については、61.1%が変更しないほうが良いと回答しており、手柄山中央公園の名称が定着していることが伺える。

【文化センター跡地にふさわしい施設】

- ・文化施設、商業施設、医療施設、福祉施設、スポーツ施設といった施設整備を望む声と、広場や緑地の充実を望む意見が寄せられた。

4. 社会潮流の変化

■社会動向

- (1) 人口減少社会の到来と少子高齢化の進展に対応したコンパクトシティの形成に向けて、都心部における高次都市機能の誘導・集積や移動利便性等の向上が求められている。
- (2) 東日本大震災の教訓や南海トラフ地震の発生などに備え、災害に強い都市構造の実現が求められている。
- (3) 2011年のスポーツ基本法の成立や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を背景に、スポーツ振興やアスリートの育成など、スポーツ立国推進の機運が高まっている。
- (4) 地球温暖化やヒートアイランドが問題となっており、市街地内の緑の役割が注目されている。
- (5) 景観法や生物多様性基本法の制定を背景に、美しい景観形成や生物多様性を保全するため、緑の役割が重視されている。
- (6) 地域の文化や歴史を活用した観光立国や地方創生の推進のため、市外からの来訪者を呼び込める魅力ある拠点の形成が求められている。

5. 手柄山中央公園の現況

■現況分析

- (1) 市街地の中心部に位置する利便性の高い総合公園である。
- (2) スポーツ、レクリエーション、文化教養、緑化関連の大規模施設が整備されている。
- (3) 公園内用地の一部が民間からの借地となっており、その扱いが課題となっている。
- (4) 公園の来園者への意向調査によると、公園のよいところとして最も高い評価は「緑（木や花）が多い」で、次いで文化教養施設やスポーツ施設の充実となっている。
- (5) 来園の現在の交通手段は大半が自家用車だが、JR姫路・英賀保間新駅を利用する意向も4～5割程度存在する。
- (6) 公園は独立丘陵で地形的な高低差があり、園路に勾配が多い。

6. 課題整理と求められる役割

手柄山中央公園の現況を調査し、上位計画、社会潮流の変化、分野別の方針等と整合を取りながら、本公園の課題を整理し、求められる役割について検討を行った。

1) 課題整理

■施設の老朽化

公園内施設については、築後 40 年以上を経過するものもあり、老朽化に対応した施設の更新や維持管理対策が課題である。

■公園内施設間の回遊動線の向上

公園面積が広く、中心部が丘陵地であるため、公園内の施設間には距離や高低差があり、回遊動線の向上が課題である。

■緑の空間・多世代間交流広場の充実

公園内は、中央体育館や立体駐車場等の建築物の敷地面積に占める割合が高く、新たな公園施設が建築できる建ぺい率に余裕がない状況となっている。
また、公園本来の機能として、散策できる園路や多世代が交流できる広場等、「憩い」、「集える」緑地空間の充実が課題である。

■情報発信

公園内には、多様な施設が数多く配置されているが、公園利用者に対して駐車場の情報や施設案内等を提供する情報発信機能が不足しており、情報提供機能や来園者誘導機能の充実が課題である。

■公園中央部の南北分断への対応

公園の中央部を都市計画道路手柄山線（幅員 18m）が横断しており、公園が南北に分断されている。利用者の回遊性や安全な移動、施設間の連携強化のための対策が課題である。

■交通アクセス（駐車場問題）への対応

都心部にありながら公共交通利用によるアクセスが少なく、イベントなどが集中すると公園内での駐車場が混雑し、近隣道路まで渋滞するなど、交通面での問題を抱えている。

J R 姫路・英賀保間新駅の整備構想を踏まえ、総合的な交通対策や駐車台数の適正規模等の検討を行う必要がある。

2) 求められる役割

手柄山中央公園は、本市を代表する総合公園として、次のような役割を担っている。

- 広域レベルのスポーツ施設が集積するスポーツの拠点となっている。
- 太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔や平和資料館、温室植物園、水族館等が設置され、平和学習、自然学習など、平和と学びの拠点となっている。
- 市街地の中心部にある貴重なオープンスペースとして、幅広い世代が集い交流する「憩い」、「やすらぎ」空間として、市民に愛される緑豊かなやすらぎの拠点となっている。
- 災害時における中播磨地域の救援、救護、復旧活動等の拠点となる広域防災拠点となっている。
- 本市を代表する市街地の中心部に位置する総合公園として、魅力ある利便性の高い公園づくりが求められている。